



2025年3月6日

各 位

スターチャージエネルギージャパン株式会社との基本合意締結に関するお知らせ  
～共同で日本市場における蓄電池プロジェクト開発、電力取引市場に参入を目指します～

当社は、EV事業を展開するスターチャージエネルギージャパン株式会社（以下、「スターチャージエネルギージャパン」といいます。）と日本市場における蓄電池プロジェクト開発における合弁会社設立に向けた共同事業に関する基本合意締結を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



Star Charge



スターチャージエネルギージャパン株式会社：<https://www.starcharge.com/>

## 1. 基本合意締結の背景

当社は、安定的な収益基盤の確保のための不動産投資事業の一環として、米国ハワイ州における太陽光発電プロジェクト実現に向けて、2025年2月28日付「[米国ハワイ州における太陽光発電所の取得に関するお知らせ](#)」の開示のとおり、稼働中の米国ハワイ州にある5か所の太陽光発電所の取得を行っております。

当社は、当該プロジェクトにおける太陽光発電事業を含めて、再生可能エネルギー事業を通じたビジネスモデルを当社の収益化に繋がる事業としても展開していくことを予定しております。

そのなかで、再生可能エネルギー事業の強化等を図るため、この度、EV事業を展開し豊富な実績を有するスターチャージエネルギージャパンと日本市場における蓄電池プロジェクト開発における合弁会社設立に向けた共同事業を行っていくことについて、合意をしております。

## 2. スターチャージエネルギージャパンについて

スターチャージエネルギージャパンは、中国の常州市に本社をおく Wanbang Digital Energy の EV ステーションブランド「StarCharge」を取り扱っている子会社です。



グローバルな新エネルギー業界におけるリーディングカンパニーである StarCharge は、過去 10 年間にわたり、38 か国及び地域にわたって事業を展開してまいりました。

同社は、中国市場における公共充電ステーションの設置数においてトップクラスを維持するだけでなく、蓄電池分野においても完全なエコシステムを構築しております。

StarCharge が独自に開発したスマート蓄電システムは、モジュール化設計を採用し、充放電効率は業界最高水準である 95% を実現しています。

また、同システムは、太陽光発電 (PV)、蓄電、充電の一体化ソリューションを提供可能であり、欧米市場では複数の 50MWh 級の系統用蓄電池案件を成功に実施しております。

### 3. 基本合意の内容について

当社とスターチャージエネルギージャパンは日本において共同出資による合弁会社を設立し、当該合弁会社によって 2メガ W の蓄電池プロジェクトをモデルとした各種高圧蓄電池 (または充電・蓄電ステーション) プロジェクトの計画、開発等を共同事業として行い、電力取引市場への参入を目指していくことを予定しております。



また基本合意に関して、両社で下記の役割を想定し、合弁会社設立を予定しております。

#### 【当社】

- ✓ 日本市場における蓄電池プロジェクトの開発および現地リソースの提供
- ✓ 合弁会社が経済産業省 (METI)、地方自治体などの政府補助金、政策支援、コンプライアンス認証を取得するための支援
- ✓ 土地許可、環境影響評価 (EIA)、系統連系許可の取得支援

#### 【スターチャージエネルギージャパン】

- ✓ 自社製品またはその他の手段を通じて、合弁会社に対し蓄電池製品の選定、ソリューションの提供、グローバルな運営経験の共有

- ✓ 製品の提供および蓄電池の輸入、設備調達などのサプライチェーン管理
- ✓ 合弁会社が必要とする製品認証および系統連系試験の取得支援
- ✓ 現地アフターサービスおよび技術支援の提供

#### 4. 今後について

2025年2月19日付「[「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ](#)」にて公表しておりますとおり、WEB3.0 領域を最重要成長ドメインと定義し、WEB3.0 コングロマリット企業へとなるため、当社グループの多角化した各事業においては、まだ黒字化に至っていない領域も抱えており、不採算事業の統合・再編・バリューアップを図り、全セグメントを黒字化させることが目下の課題ともなっております。

今般のスターチャージェエネルギージャパンとの基本合意は、再生可能エネルギー事業を通じたビジネスモデルを当社の収益化に繋げていくうえでも非常に重要な共同事業であります。また、当社で進めていく Web3 文脈を取り入れることで、従来の事業モデルを飛躍的に伸ばし、持続的な成長を加速させていく可能性も高く、両社で当該事業分野における相乗効果も期待されます。

なお、本件が当社の連結業績等に与える影響はございません。



■GFA 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

当社については、『最先端フィンテックで未来の金融を支える』をテーマにメタバースや金融事業を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGs を重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社を目指しています。

多分野に広がる当社のグループ企業のネットワークから、金融事業にフォーカスしたノウハウを集め、個人・法人問わず顧客ニーズに柔軟性ある確かな答えを提供していきます。

以上